

令和元年度第一回白根飯野小学校学校関係者評価書

学校関係者評価委員会

- 日時 令和元年9月6日（金）午後7時00分
- 場所 白根飯野小学校 図書室
- 出席者 ○学校関係者評価委員
市川和郎（元校長・学校評議員）
飯野 久（学校評議員・南アルプス市議会議員）
飯田哲夫（元校長・学校評議員）
相良明彦（学校評議員・PTA 会長）
石原博道（飯丘地区自治会長）
秋山 登（飯野地区自治会長）
○学校代表
岡こずえ（校長） 窪田正幸（教頭） 深澤和博（教務主任）
- 欠席者
- 内容及び次第 進行：深澤教務主任

I 次第

- 1 始めの言葉
 - 2 学校長挨拶
 - 3 自己紹介
 - 4 議事
 - ① 1学期末の学校評価（教職員・保護者・児童）の集計結果の報告
 - ・自己評価・保護者アンケートについて 提案者：教頭
 - ・児童アンケートについて 提案者：教務主任
 - ②意見交換
 - 5 終わりの言葉
-

Ⅱ 学校関係者評価委員会報告概要

本校の学校評価は、学校教育目標の実現（学校経営方針の実現に向けた本年度の努力点）のための取組状況を、教職員による自己評価に加え、保護者・児童によるアンケート調査結果を利用する中で、それぞれの立場を踏まえるとともに、これらに関わる設問に寄せられた意見や、日常的に行っている児童観察も加味して分析し考えている。

【1】評価基準

全体傾向を把握するため、A B評価を肯定的評価とし、それらの合計が、80%を超えている場合は『満足できる状況』と判断した。また、C D評価を否定的評価とし、それらの合計が20%を超えている場合は『改善の余地がある状況』と判断した。

(A: そう思う B: だいたい思う C: あまり思わない D: そう思わない E: わからない)

【2】全体的な傾向

教職員による自己評価、児童・保護者によるアンケートを通じて、3者ともに、ほとんどの項目でA B評価の合計が80%を超え、各アンケートの全体平均においても教職員（平均88%）、児童（平均91%）、保護者（平均89%）と肯定的な評価がされていた。

一方、C D評価の合計が20%を超えたものは、教職員は

- ・児童が、自分の考えや自由記述を明るく、表情豊かに伝え、理解しあえる喜びを体験し、異文化と共生する態度を養うことができたか（英語教育）(28%)
- ・ペア学習、グループ学習を有効的に取り入れ、伝え・聞くなど言語活動を充実させることができたか。(33%)
- ・子どもの日常生活や好奇心に関わり、興味関心をかき立て、学校から家庭に発展する学習の工夫に努めることができたか。（教材の工夫と家庭学習の充実）(21%)
- ・授業を広く公開し、職員の学び合いを活発にて、互いに指導力を高め合うことができたか。(47%)
- ・豊かな読書・文化芸術体験を通し、辛いとき苦しいときにも強く生きる心を育むことができたか。(25%)

の5項目であった。

保護者については、

- ・子どもは、家庭でも宿題や自主学習・読書など学習する習慣がついている。(26%)
- ・PTA活動に進んで参加している。(25%)
- ・お子さんを地域の行事に参加させている。(21%)」

の3項目であった。

児童については、20%を超える否定的評価はゼロであった。

学校生活全般についての調査項目（以下の①②）では、ともにAB評価の合計が90%を超え、非常に高い数値である。これらのことから、現在の本校は、概ね『満足できる状況』にあると判断できる。

①児童：学校は楽しいですか。(92%)

学校で一緒に遊んだり、おしゃべりをしたりする友達はいますか。(95%)

②保護者：子どもは、白根飯野小学校に楽しく通学している。(96%)

【3】個別の分析

【I 世界に通じ社会を生きぬく力に関して】

教職員が肯定評価したものは、3項目中2項目で、いずれも100%と高い。これは、学校教育目標や教育重点を年度当初に十分共通理解するとともに、日々の実践において自己肯定感を高めさせてきた成果とみられる。

一方で、『児童が、自分の考えや自由記述を明るく、表情豊かに伝え、理解しあえる喜びを体験し、異文化と共生する態度を養うことができたか（英語教育）』については肯定評価が低い結果となった。英語を使ってコミュニケーションをとることについて苦手意識を感じている児童は多い。ALTと連携しながら、英語を身近に感じたり外国の文化に触れたり理解したりする学習を重ねながら、英語でのコミュニケーションに慣れさせていく必要がある。

保護者コメント

- 先日飯野小まつりに行かせていただきましたが、高学年の子たちが低学年の面倒をととてもよくみていて、下の学年の子もなついている様子が見られ、子ども同士の関係性がよいと感じました。
- 安心して学校に通わせています。先生方、お友達に良い刺激を受け充実した学校生活をおくっています。いつも温かく励まして下さり感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

【Ⅱ 確かな学力と自立する力について】

教職員が肯定評価したものは、5項目中2項目であった。いずれも、「主体的・対話的で深い学び」を強く意識しながら指導計画を立て、実践しようとする取り組みをしている教職員の思いが表れた結果であると考えられる。保護者評価の『3子どもは、学校の授業に進んで参加し、がんばっている。(95%)』と児童評価『授業はよくわかりますか。(93%)』の双方の評価も一致した結果となっており、その成果を確かめられている。

一方で、5項目中3項目において否定評価が20%を超えていることは、大きな課題として受け止めなければならない。それは、「ペア学習、グループ学習等の学習形態の有効的な活用の工夫」「言語活動の充実」「教材の工夫」といった具体的な手立ての構築と実践に関わる内容である。形態としてのペアやグループによる対話的な学びは多くの学級で行っているところだが、それを児童同士の言語活動を通してさらに深まりのあるものにしていくことが必要である。今年度の校内研究のテーマともかかわる部分でもあるので、2学期以降に研究をさらに進めていきたいと考える。また、「学校から家庭に発展する学習の工夫」についても考えていく必要がある。関連する保護者評価においても、『4子どもは、家庭でも宿題や自主学習・読書など学習する習慣がついている(74%)』と肯定的評価が低い。家庭学習は「学校で分かったこと」を「知識」として定着させていくために必要な作業であることを児童自身にも自覚させていくことが必要である。内容も、低学年のドリル的な方法から高学年では調べ学習や発展学習につなげていくなど、工夫が必要となる。また、児童アンケートでの「自分の携帯ゲーム機や音楽プレーヤーの所持率(69%)」、「自分の携帯電話・スマートフォンの所持率(42%)」「家庭内での携帯電話・スマートフォン使用に関するルール設定(76%)」からも、家での学習以外の時間の使い方が適正であるか振り返らせていく必要もあると考える。

加えて「職員同士の学び合いがさらに必要である」との結果も出ている。今年度、職員の半分程度が入れ替わり、若い教職員も増えたことから、中堅以上の教職員が持っているノウハウを伝えたり、実践を公開しながら学び合う取り組みを進めたりしていくことが大切となる。本校でも、初任者への師範授業や、複数学級の学年ではお互いの学級の授業を受け持つなどの取組を行っている。校内研でも、2年生の国語の授業を全員で参観し、飯田哲夫元校長先生を講師に迎えての授業研究会も行った。時間確保や参観時の補欠体制等の問題もあげられるが、ビデオ参観を取り入れたり、一実践の報告会を盛り込んだりなどの工夫を行いながら、お互いの学び合いの機会を確保していきたい。

保護者コメント

△家庭では、子供が心も体も休める環境でなければいけないと思うので、宿題をなるべく少なくしていただきたい。学校で頑張っていて疲れて帰ってきて、宿題に集中するのが難しい。それにつきあう親も大変である。平日は特に、仕事をしている親であれば、なおさら宿題以外でコミュニケーションをとる時間がゆとりをもって作れるようにしてほしい。

●対策：宿題に対する負担が子どもによって違うのは、ある意味仕方のないことである。ただ、その負担が過剰なものであると、心理的・物理的な弊害も生じてくる可能性もあり、またそれに伴って保護者の負担も大きくなる。各担任が児童の様子を再度把握し、必要量を課すとともに、不足分は家庭での自主学習に委ねることを、保護者の方々にもご理解いただき、取り組ませていく。また、親子のコミュニケーションも兼ねた本の読み聞かせ等も勧めていく。

【豊かな心と自己実現を図る力】

教職員が肯定評価したものは、7項目中6項目ある。中でも、「すべての児童に居場所のある学級・学年・学校づくり」「いじめや不登校への取組」については、肯定的評価が100%となった。また、「常に相手の立場に立って考える子どもの育成」「縦割り班活動の推進」「読書習慣の定着」「小笠原流礼法を中心とした所作や言動」についても、肯定的評価が80%を超えている。本校では、被害児童の心情を尊重し、被害児童が「いじめられた」と感じている事案については些細なことでもいじめとして認知し、対応している。例えば、からかいや冷やかしの相手をつける行為に対しても、子どもたちの様子を観察し、きめ細かく指導してきている。そのような教職員の意識の高まりが数値となって現れたものとみられる。また、関連する保護者評価においても『5子どもは、学校・学年・学級で理解され、心の居場所を持っている。(89%)』『6子どもは、人の心を思いやり、豊かな心を育てている。(95%)』と約9割の保護者が肯定的評価をしている。合わせて関連する児童評価として、『学校は楽しいですか。(92%)』『学校に仲よしの友達はいますか。(95%)』とこちらも9割の児童が肯定評価している。

反対に課題とみられる項目は、「読書や文化芸術体験を通じた、辛い時苦しい時にも強く生きる心の育成」となっている。県の「しなやかな心の育成事業」を受け、本校でも「家読の推進」や「家読ポップづくり」に取り組むことで、様々な本に出会い、豊かでたくましい心を育む活動を推進している。今後も、子どもたちの発達段階に適した書籍や芸術に出合うことで、人々の考え方や行

動に共感し、その思いを自分自身の生活に落とし込んでいく体験を仕組んでいくことが大切であると考えます。同時に、自己肯定感・自己有用感を高めるような言葉がけを意識し、一人一人が自信を持って困難に立ち向かっていこうとする心を育てていきたいと考えます。

保護者コメント

- 入学当初から泣いてばかりで、慣れるまでたくさんの先生の力を借りてやっと7月になるなど感じています。おかげさまでそれほど騒ぐこともなく登校しています。
- いつも楽しく登校させていただいています。親としても安心して学校に通わせることができ、とてもありがたいです。先生方の御苦勞に感謝しています。
- クラスのお友達や担任の先生に恵まれ、子どもなりに頑張っていて楽しく過ごしているようです。これからもよろしくお願いします。
- 安心して預けています。いつもありがとうございます。
- とても楽しくいきいきと学校へ通っています。
- 悪口を言われたりすることがあると、学校が嫌になることもあるようですが、頑張っていて通っています。

【健康で健やかな生活を営む力】

すべての項目（2項目）において教職員が肯定評価している。それは、「運動が苦手な児童への達成感を味わわせる指導や運動習慣の形成」「健康についての理解と生活習慣の形成」である。いずれも95%と高い評価である。

関連する保護者評価においても『2子どもは、仲間と協力し、行事や活動に粘り強く取り組んでいる。(98%)』『11 ご家庭では、子どもに善悪のけじめを教え、しつけに力を入れている(92%)』『12 ご家庭では、早寝、早起き、朝ごはんに取り組んでいる。(86%)』『13 子どもとの触れ合いの時間を持つようにしている。(95%)』の全てにおいて85%を超える肯定評価を得ている。

児童評価においても、『そうじ当番がしっかりできますか。(96%)』『学校の約束や決まりを守っていますか。(96%)』となっており、けじめを持って取り組んでいることが伺える。特に清掃活動においては、無言清掃に重点的に取り組んでおり、このことについては今後も徹底して行っていく。

一方、保護者評価の『10 子どもは、安全を意識し登下校している。(84%)』では、肯定的ではあるが、他と比較してやや低い結果が見られる。子どもたちの登下校における規律やマナーについて、全職員で確認し、児童の安全意識を高める指導を強化していきたい。

保護者のコメント

△友達同士の軽いけんかはともかくですが、ハサミなど危険な物の使用には注意願います。

- 対策：道具の使い方や危険性等について指導を重ねるとともに、危険なものを扱う場合は、極力複数教員での指導を行う。また、突発的に危険行為に及んでしまう傾向のある児童に対しては、ハサミ等の危険なものは担任が預かっておくようにする。

△どこの学校もそうかと思いますが、8時前に着いた子どもたちが玄関で待ちくたびれる姿を見ると切なく思います。数分でも早く開けてほしい。

- 対策：集団下校の指導時に各班の到着時刻を確認し、8:00～8:10 頃に到着できるように、必要に応じて出発時刻の変更を各地区の支部長に願います。玄関開錠時刻については現状を継続していくが、天候等の状況に応じて臨機応変対応していく。

△先日の学校便りに飯野プリンシパルがいましたが、その中に「時間を守る(終了時刻を守る)」とありましたが、下校時刻が15分も遅れて下校が始まり、門から出てくる時があるのはどうしてでしょう。

△帰る時間が3時50分なのに、4時すぎに学校から出てくることが多いので、できれば4時頃にはかえしてほしいです。(習い事があるため、早めに帰りたいです。) 願います。

- 対策：児童対応や指導等の必要性が突発的に発生し、やむを得ず予定された下校時刻に遅れてしまう場合があることは、お迎えに来ていただいている保護者の皆さんには御迷惑をおかけするが、御理解いただかなくてはならないこともある。ただ、児童にも下校後の予定があることは配慮していかなくてはならない。下校時刻に限らず、時間を守ることを強く意識していくようにしたい。

△登校時に白い線からはみ出て歩いている子たちがいます。カーブのところだったりして危ないです。

- 対策：集団下校で集合したときに、児童に登校時に様子について振り返らせるとともに、歩道を1列で歩くことが自分で自分の安全を守ることにつながることを、担当教師がきちんと指導する。

△学校周辺の道路の目印（止まれ等）が、薄くなっていて危ないと思った。子どもが増えた住宅街に、飛び出し注意などの看板をつけてほしい。子どもの危険を少なくしたい。

●対策：通学路安全点検の報告を基に、学校では危険箇所を把握し、市教委にも改善要望事項として報告をしている。今後、市にも修繕要望を提出し対応を検討していただくことになっている。一方学校としては、歩行時・自転車乗車時の交通ルールについて、折に触れて徹底していくことで、児童の交通安全の意識を高めていきたい。

△通学時間に農薬散布をしないように協力を求めるように通知してください。

●対策：J A南アルプス市飯野支所において、放送で呼びかけをしてもらう。

【一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進】

教職員が肯定評価したものは、4項目中全ての項目であった。特に、「個別のニーズの把握と指導」「保護者相談等を通じた連携指導」「個人差を尊重し合う学級づくりと学習指導」については、肯定評価が100%となった。残りの1項目「校内支援体制の効果的な運用」も、89%と高い肯定評価であった。

支援が必要な児童はどのクラスにも存在するが、ケース会議を通してその特性を理解・共有し、複数での教員での指導ができるよう支援体制を見直しながら取り組んできた。また、校内研究の中で児童の情報交換を定期的に行い、担任の指導方針を尊重しつつ、全校で同じ方向を向いて指導に当たれるように取り組んできたことが、肯定的評価につながったのだと思う。すぐに状況が改善されるわけではないが、今後も職員一丸となって指導・支援にあたっていきたいと考える。

保護者コメント

○学校が大好きで、土日はがっかりするほどです。先生のこと大好きで毎日のご指導ありがとうございます。多動傾向でおふざけキャラでもあり、手にかかる存在だと思いますが、叱られやすいのではないかと気がかりです。もちろん注意や指導は必要ですが、飴と鞭のバランスをお願いします。

○学校に気持ちに向くまで時間が掛かりますが、いつも温かく迎えてくださり感謝しています。昨年の様子を知っている先生が担任でとてもいい環境です。

先生が手書きで丁寧に問題をつくってくださりありがとうございます。年度当初は、下駄箱の位置等改善して下さりありがとうございました。

△乱暴な子どもから目を離さないで欲しいです。そのこと以外は楽しく通えています。御対応をお願いします。

●対策：支援が必要な児童においては、白根巨摩中学校のスクールカウンセラーや、医療、福祉、行政等の関係機関と連携しながら対応にあたっている。また、学校としても休み時間等、児童が自由になる時間も含めて、できる限り教師が目を配るようにしていく。

△避難訓練も、来年度は分けることなく学年のクラスで他校のようにしていただきたいです。

●対策：災害が発生した時にどの場所にいたかによって、避難の方法は変わってくるが、最終の人員確認は担任が行うのが基本となる。災害で混乱している時に、確実に児童の安否を確認し、児童に寄り添える存在は担任であると考えてるので、現状を維持する。

【安全に安心して学べる教育環境づくりの推進】

教職員が肯定評価したものは、2項目中全ての項目であった。「保護者、地域の力を活用し、共に支えあう地域の学校づくり(適切な情報発信等を通して)(94%)」「PTA活動・地域の様々な行事への職員の参画による協力関係を構築(94%)』と9割以上の教職員が肯定評価している。また、関連する保護者評価で次のものは肯定評価が高い。『7 学校は、情報発信(連絡帳、おたより、ホームページ等)として、子どもの教育活動を伝えている。(91%)』『8 学校は、教育活動に適した施設設備を整えている。(91%)』『9 学校は、授業参観・行事等学校開放に努め、保護者と連携し、その意見に耳を傾けている。(93%)』である。

反対に、関連する保護者評価2項目において肯定評価がやや低いものが、『14 PTA活動に進んで参加している。(74%)』『15 お子さんを地域の行事に参加させている。(79%)』である。いずれも80%に届かなかったが、昨年度の同時期と比較すると、それぞれ66%→74%、71%→79%と向上しており、保護者の方々のPTA行事や会議等への参加意識が高まってきている現状が見て取れる。保護者の方々も多忙な中でPTA活動へ御協力いただいているので、内容を精査しつつ、子どもの活動を支えるPTAにしていきたい。

自由記述の課題の指摘については、真摯に意見を受け止める中、学校として取り組めるもの、地域として取り組むものと区分けしながら検討していく。

保護者コメント

○いつも大変お世話になっております。おかげ様で毎日楽しく通わせて頂きありがたいです。学年通信では、子どもたちに今知ってほしいことを分かりやすく伝えて頂きありがとうございます。親の私としてもとても勉強になります。

△子供達の行事が1年生は初めてで上の子がいれば内容はわかっているのですが、説明してほしかったです。

△友達とのトラブルを子供から聞くのではなく、連絡帳で教えていただきたいです。

●対策：行事については、学年だよりや学級だよりを通して保護者の方々に周知しているが、細部にわたってまでは伝えきれない部分もあるかもしれない。校外学習等については、独自のお知らせも配布しているので、その中でできる限りわかりやすく伝えるように取り組んでいく。また、学校での子どもたちの様子については、特に保護者の方々に知っておいてほしいことや、一緒に考えていきたいこと等がある場合は、電話連絡を行うようにする。

△昨年度まで、ホームページのお知らせをととても楽しみに見ていました。今年度もぜひ更新をお願いします。

△遠足など学校行事で集合写真など色々な写真を焼き増ししたりホームページなどに載せたりしてほしいです。

△2019年4月からホームページが更新されていなく、学校での様子もわからず、子どもからやお便りのみの情報を知る状態です。ホームページが見られないのは、私のサイトがダメなのか。今年度のホームページは見られるのでしょうか。

●対策：遅くなってしまい、保護者の方々にご心配をおかけしたが、夏季休業中に、ホームページの更新作業を始めた。昨年に倣いながら、行事予定表や主だった学校行事等については、掲載をしていく予定なので、ぜひ閲覧していただきたい。

△トイレのにおいが気になります。

△教室にエアコン1台のみなので、子どもが多数いると蒸し暑いそうです。

△音楽室の場所が教室に近く、音や声が授業に影響しているのではないかと心配。

●対策：今年度は、特別教室にもエアコンが設置されたことで、学習環境はぜひぶん改善された。稼働開始時刻や設定温度等は【使用マニュアル】に従っ

で行っているが、各教室の状況に応じて臨機応変に対応していく。また修繕が必要な個所については、市教委に要望を上げているが、施設の老朽化もあり、すべてに手が回っていないのが現状である。周りの状況に配慮したり、日々の清掃や管理を強化したりしていく。

△学校開放日を増やしてほしい。(月一度くらいは)子どもたちの一生懸命な姿等、地域の方、家族の方に見ていただく機会が増えるので。

●対策：学校行事に関しては、年間行事計画作成時に、他の行事や会議・出張等との兼ね合いを調整しながら決定している。保護者の方々の要望も意識しながら、来年度の計画作成時に検討していく。

△防犯カメラを設置し、日ごろはなかなか、学校の中には関係者以外立ち入ることができませんが、保護者の中には頻繁に学校に来ている人がいるということを知りました。保護者であっても、開放日や参観日以外は校舎内をうろつくのはどうかと思います。

△授業参観や学校開放日があるにもかかわらず、児童用玄関より入る保護者の方がいます。用事がある時は職員玄関より入り、職員室に声をかける決まりではなかったのでしょうか？どんな理由があるにしろ、防犯上の観点からすると普段から保護者でも廊下をウロウロするのはやめてほしいです。親がルールを守らないのに子どもたちにはルールは守りましょう！と言っても説得力がないと思います。

●対策：不審者が校内に立ち入ることを防止するため、基本的に外部から来た方は、玄関先にあるノートに記名してもらい、職員室に来校目的を知らせることになっている。保護者に関しても、朝の送りや帰りの迎えは玄関外で行い校舎内に入らないこと、授業中の届け物等は職員室に声をかけ、職員に預けていただくことを引き続きお願いしたい。学校便りやPTA総会、学年部会等で呼びかけるとともに、管理職も校舎内を巡回し、防犯を進めていく。

△先日の学校開放日ですが、飯野小祭りでは子どものグループについて回らないと活動が見えず、また歩き回らなくてはならないので、大変だと思いました。せっかくの解放なので、祖父祖母やこれから入学する親たちが見に来ることもあると思います。もう少し見やすい活動がいいなと感じました。飯野小祭りは子どもたちだけで十分な気がします。

△先日は学校開放日お疲れ様でした。飯野小祭りでは子ども達の生き生きした様子を見ることができてよかったです。最後に一番楽しみにしていたゲームに参加できなかったのが残念そうで、かわいそうでした。残り時間に余裕が

あったので、工夫次第で参加できそうだったのが残念です。班が通過した際にチェックをしたり、残り5分や10分などで放送を入れたりしたらどうかと思いました。

- 対策：今年度のような、児童が主体となって運営する活動を参観していただくのも、どの子も普段の授業中とは違う一面を見られるので価値があると考えている。進行の仕方については、様々な工夫が考えられるので、いただいたご意見を参考に改善していく。また、来年度の学校開放日の公開内容については、今年度の反省に基づき方向性を決めていくことになるので、今後の検討課題としたい。

△なかなか参加できない行事もあります。

△PTA活動が保護者の負担になっていると思います。（共働き世帯の増加、環境の変化などによる）PTAの廃止や任意での参加ができるとういことです。

- 対策：子どもは、三者（保護者・学校・地域）が連携して見守っていく体制が必要不可欠と考える。よって、負担感については、仕事内容を精選するなど検討を進めていく。